

タイ王国との相互訪問交流 タイ王国ノンタブリー県から 12名の中学生が来町



タイ王国ノンタブリー県第一地区初等教育局と締結している教育交流協定に基づき、今年度も中学生の相互訪問交流が行われています。8月には美郷中学校の生徒12名が同県を訪問し、現地のアヌラチャプラシット校でさまざまな活動をしてきました。

雪で一面真っ白に覆われた12月11日、そのアヌラチャプラシット校から生徒12名が来町しました。4泊5日の日程となった今回の訪問では、美郷中学校での交流活動のほか、日本の「冬」を味わえるさまざまな体験活動が行われました。



12月12日、美郷中学校では歓迎集会が開催され、歓迎あいさつや学校紹介などは英語で行われました。

交流タイムとして設けられた時間では、美郷中学校の生徒が日本舞踊や菖蒲太鼓などを披露。また、相撲を披露した場面ではアヌラチャプラシット校の生徒が相撲体験をするために登壇し、歓声が沸き上がりました。

※タイ王国ではお互いの名前をニックネームで呼び合う慣習が浸透しているため、広報美郷においても生徒の名前はニックネームで表記します。

相撲を体験した ガンさんのコメント

相撲に挑戦するのは今回が初めてでした。ドキドキしたけど、とても楽しむことができました。



箏を体験した
メイさんのコメント

タイ王国にも似たような楽器があるけど演奏は難しかったです。でも楽しかったし、良い経験になりました。



12月13日、アヌラチャプラシット校の生徒たちは3年生の授業に参加しました。箏の体験学習が行われた音楽の授業では、美郷中学校の生徒に教わりながら「さくらさくら」を演奏しました。



ホストファミリーとなった美郷中学校の生徒宅に、アヌラチャプラシット校の生徒は2泊しました。12月14日はホストファミリーと終日一緒に過ごし、交流を深めました。

交流活動のほか、アヌラチャプラシット校の生徒たちは、天筆や餅つきなどの体験活動を行いました。また、タイ王国では基本的に雪が降らないため、今回の訪問は雪に触れる貴重な機会となりました。

